

HEART NEWS

2016年5月1日発行

Vol. 19

大阪市立総合医療センター循環器センター



新しい年度に入り最初のハートニュースの発行となりました。

循環器内科は、昨年10月に府中病院から紙森公雄先生がスタッフとして来られ張り切っておられます。また心臓血管外科では、高橋洋介先生の大阪市立大学への移動に伴い、JCHO大阪病院(旧大阪厚生年金病院)から賀来大輔先生がスタッフとして新たに加わりました。

循環器内科、心臓血管外科とも若手のレジデントも加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりますので、今後ともご支援よろしくお願ひします。



大阪市立総合医療センター 循環器センター長
循環器内科部長

成子 隆彦

循環器内科のご紹介

循環器内科は、循環器センター直通電話（ハートライン）、循環器センター広報誌（ハートニュース）、ハートカンファレンスなどの地域連携研究会を通じ地域医療機関との連携に努めております。さらに今年度は以下の分野を重点的に取り組みたいと思います。

- 1.大動脈弁狭窄症のカテーテル治療： 高齢化に伴い大動脈弁狭窄症は急激に増加しています。当院では、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI/TAVR; Transcatheter Aortic Valve Implantation) 施行に向けて昨年12月に、大阪府内6施設目(市内3施設目)の施設認定を取得し、4月から開始しています。これまでハイリスクが故に手術を断念していた患者さんにとって、新たな選択肢になると考えています。
- 2.クライオアブレーションの実施： 昨年11月から大阪府下3施設目となる発作性心房細動に対する新しい不整脈治療である心筋冷凍焼灼術（クライオアブレーション）が、すでに開始されています。従来のアブレーションに比べ、手術時間の短縮、再発率の低下、安全性の向上などが期待され、今後、ますます不整脈治療の充実を行って行きたいと思っています。
- 3.心臓リハビリテーションの充実： これまで入院中の患者さんに限定していた心臓リハビリテーションを、退院後の一定期間、外来でも実施できるような体制を準備中です。



副部長
紙森 公雄



副部長
阿部 幸雄



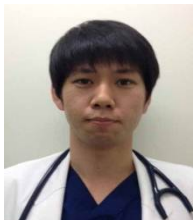
医長
松村 嘉起



医長
松本 亮



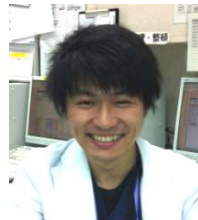
医長
占野 賢司



レジデント
吉山 智貴



レジデント
松尾 真典



レジデント
松下 司



レジデント
加川 俊介



レジデント
赤松加奈子

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	紙森	成子
午後	阿部	松村	吉山	紙森	成子
	占野・吉山 (ペースメーカー)				

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子		松本	成子	阿部
午後			占野(不整脈)		

心臓血管外科のご紹介

心臓血管外科は循環器センターとして、循環器内科医と協力し、24時間対応可能な診療体制をとっております。救急手術や急性期加療が必要な患者さんがおられましたら、循環器センター直通電話（ハートライン）へ連絡お願い申し上げます。また、当院の救急救命部とも密に連携しており、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂等の急性期加療を要する重症患者さんは救急救命部に連絡していただければ、24時間受け入れ可能な体制を取っております。さらに今年度は以下の項目にも取り組んでいきたいと思っております。



部長 佐々木康之

- 1) 最近著明に増加している高齢者の石灰化大動脈弁狭窄症に対して、従来から施行している大動脈弁置換術（AVR）に加え、カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）を循環器内科と共同で開始しております。大動脈弁置換を要する大動脈弁狭窄症患者さんがおられましたら、循環器センター（内科、外科）に紹介頂ければ、患者さんの状態に応じて最適な治療（AVRあるいはTAVI）を施行いたします。
- 2) スtentグラフト治療の充実：当院では大型の透視装置を有した手術室（ハイブリッド手術室）を使用し、胸部・腹部大動脈瘤に対するstentグラフト内挿術を施行しており、さらなる症例数の増加を目指しております。また、開胸・開腹による人工血管置換術では救命率の低い大動脈瘤破裂に対しても、より高い救命率が得られる可能性のある緊急stentグラフト内挿術を積極的に施行していきたいと思っております。



医長
尾藤 康行



医長
瀬尾 浩之



医長
賀来 大輔



レジデント
新田目淳孝



レジデント
因野 剛紀



レジデント
山根 心

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	瀬尾	佐々木	賀来	佐々木	尾藤
午後	瀬尾	佐々木	賀来	佐々木	尾藤

診察予約（地域医療連携室）

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

平日 8:45～20:00

今号の循環器日記

高齢や併存疾患で外科手術リスクが高い大動脈弁狭窄症例における画期的な治療オプションとして、経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVIまたはTAVRと略します）が急速に広まっています。当院でもいよいよ始まりました！写真はその際のハイブリッド手術室の様子です。リスクが高くない例においても近いうちに標準的治療法となることが予想されます。既知の大動脈弁狭窄症あるいは心雑音を聴取する例を、年齢・リスクに関わらずぜひ一度当院にご紹介ください！



循環器内科エコーチームで、日本心エコー図学会第27回学術集会（4月:大阪）に参加してまいりました。会長の大阪大学中谷敏先生による企画が素晴らしく、盛況かつ有意義、そして楽しい会となり実り多き3日間になりました。我々もそれぞれ発表してまいりました。右下は阿部と松村が同じシンポジウムで座長と発表をした際の写真です。また第80回日本循環器学会学術集会（3月:仙台）では、吉山や松下が、大動脈弁狭窄症やタコツボ型心筋症における生化学マーカーについて発表し、活発な質疑応答を行いました。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、
06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。